

特別活動の全体計画

東海大学附属望星高等学校

1. 特別活動の重点目標

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。

(1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

(2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

(3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

「ホームルーム活動」

ホームルーム活動を通じて、豊かで充実した高校生活と自立的、自発的な生活態度の育成を図る。集団の一人であることを自覚させ、人間として望ましい生き方を育てる。

「生徒会活動」

異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、民主的に行動する態度を育てる。

「学校行事」

全校や年次又はそれらに準ずる集団で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、自主的に集団の規律や秩序を守る態度を育成する。

2. 評価の観点については、学習指導要領等に示す特別活動の目標や学校として重点化した内容を踏まえ、各学校が評価の観点を定める。本校の観点は、以下の通りとする。

協働して集団活動を行う上で必要な知識・技能 社会における課題発見、解決への思考力・判断力・表現力 主体的に社会に参画する姿勢、自己実現を図ろうとする態度

3. ホームルーム(LHR)活動計画

	1年次	2年次	3・4年次
目標	高校生としての自覚と基本的な生活習慣を確立する。 集団の一員としての責任の自覚、自己の理解を深める。	豊かな個性と自主性を伸長する。 温かい心情と誠実な人間性や望ましい人生観と職業観の育成をする。	上級年次として、学校全体の連帯感を育成する。 自己の生活設計や個性を生かす進路を決定する。
1	学校生活	新年度学校生活心得	新年度を迎えて
2	新入生歓迎会	個別指導春	成年の義務と権利
3	学習の振り返り	進路指導①	受験生としての心構え①
4	他者理解①	道徳教育①	混沌とした時代を生きる
5	言葉で説明しよう	レポート中間締め切り指導	受験生としての心構え②
6	生徒総会	生徒総会	生徒総会
7	建学祭について	進路指導②	建学祭に向けて
8	期末テストについて	建学祭について①	期末試験に向けて
9	春学期の振り返り	期末試験に向けて	春学期のまとめ
1(秋)	他者理解②	新学期学校生活心得	秋学期を迎えて
2	キャリアガイダンス	建学祭について②	情報リテラシー
3	進路説明会	進路指導③	受験生としての心構え③
4	生徒会役員選挙	生徒会役員選挙	生徒会役員選挙
5	進路を考える①	レポート中間締め切り指導	持続可能な社会とは①
6	他者理解③	主権者教育	持続可能な社会とは②
7	進路を考える②	道徳教育②	受験生としての心構え④
8	期末テストについて	進路指導④	期末試験に向けて
9	進路を考える③	二年次一年間の総括	秋学期・1年間のまとめ

(AW生)

4. 特別活動の範囲

ア. ホームルームならびに学校行事、生徒会活動など、事前に予定され、指導計画されているものを特別活動とする。

イ. ホームルームは、50分を1単位時間として、50分を欠けることなく実施し、出席したものを1単位時間の参加とする。

ウ. 学校行事等は、移動時間を除く実活動時間において単位時間を算出して特別活動への参加とする。

エ. 総合講座等履修に係る行事、学力試験等の学力養成に係るもの、個別面談等に係るものは原則として対象としない。

オ. 生徒の状況を鑑み、「学習方法の変更」の対象とする場合がある。

5. 卒業要件 卒業までに30単位時間以上の活動が必要。